

平成28年度病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ハダニ類)

平成28年12月20日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンドあたり平均0頭(前年:0頭、平年:5.7頭)で、平年より少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は1バンド当たり0頭(前年:0.1頭、平年:0.1頭)で、平年より少ない。
- (3) クワオオハダニの休眠卵数は1短果枝当たり0.01個(前年:0.3個、平年:3.5個)で、平年より少ない。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬密度

調査地点	カンザワハダニ(成虫)			ナミハダニ(成虫)			クワオオハダニ(越冬卵)			
	本年	前年	平年 ¹	本年	前年	平年 ¹	本年	前年	平年 ¹	
東部	鳥取市 佐治町	0	0	0.1	0	0	0.0	0	0	4.6
	鳥取市 青谷町	0	0	0.2	0	0	0.0	0	2.1	0.6
	八頭町	0	0	38.7	0	0	0.4	0	0	1.5
中部	倉吉市 中野	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.2
	湯梨浜町 別所	0	0	2.1	0	0.7	0.1	0	0.1	2.3
	北栄町 由良宿	0	0	0.6	0	0	0.0	0	0	11.2
	琴浦町 竹ノ内	0	0	9.4	0	0	0.0	0.0	0.2	5.7
西部	大山町 坪田	0	0	0.1	0	0	0.0	0.1	0.4	1.1
	南部町 朝金	0	0	0.1	0	0	0.0	0	0	4.4
県平均		0	0	5.7	0	0.1	0.1	0.01	0.3	3.5

¹: 平年はH18～27年の平均値

調査方法: 9月に紙バンドをほ場に設置。園あたり6バンド(1樹3バンド、2樹設置)
12月に紙バンドを回収後、バンドあたりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。
同時に園あたり40短果枝を採取し、短果枝あたりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生密度が高かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには(1)～(3)、クワオオハダニには(3)が有効である。

(1) 誘殺バンドの取りはずし

主枝や亜主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

(2) 粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

(3) 薬剤散布

3月中旬に、マシン油乳剤(ハーベストオイル)50～100倍液を散布する。